

和食・麵処 サガミ 

お席のご予約は各店にて随時承ります！お問い合わせは下記各店まで

Milano Centrale 店 ☎ 02-2416-9051  
 Bologna 店 ☎ 051-506-5619  
 Modena 店 ☎ 059-397-0854  
**毎日営業中!**  
[www.sagami.it](http://www.sagami.it)

Parma 店 ☎ 0521-390313  
 Reggio Emilia 店 ☎ 0522-744778  
 Siena 店 ☎ 0577-553753



3 Marzo **雛祭り** Festa delle bambine

con **CIAO!!**  
 優待券  
 Sconto  
 10%



Nell'attesa del prossimo viaggio, passa da noi!

 **TANABATA**  
 MARZO è un mese pieno di sconti

七夕書店 **TANABATA**  
 Via Adige, 7 - 20135 Milano - tel.02-5463980  
 info@tanabata.it - www.tanabata.it 

# CIAO! JOURNAL

隔月刊日本語新聞  
 2022年3-4月号

No. 36

隔月刊日本語新聞 - PUBBLICAZIONE PERIODICA GRATUITA distribuita in Italia ANNO 6 - NUMERO 2 - MARZO/APRILE 2022 | Edito da: Geienneffe Editore S.a.s. Testata giornalistica iscritta al Tribunale di Milano n° 53 del 23/01/2017

Il paese più piccolo del mondo  
 世界で一番小さい国

わくわくするイタリア新聞

Curiosare il Giappone  
 Articoli in italiano da pag. 6



<http://www.ciaojournal.com/>  
[ciao@ciaojournal.com](mailto:ciao@ciaojournal.com)

Ciao Journal イタリア新聞  
 ciao\_journal  
 Ciao Journal  
 Ciao Journal

**Ciao! Journal 広告掲載料金  
 Tariffe per pubblicità**

広告一回掲載料金  
**Tariffe Pubblicità per una singola uscita modulo (mm59×59)**  
 €140+IVA (mm59×59)  
 €60+IVA (mm59×26.5)

**1ページ Prima pagina**  
 タイトル上 sopra la testata €380+IVA

**2,3,16 ページ Pagina 2,3,16** €200+IVA

上記の料金を広告原稿作成代は含みません。  
 I prezzi non contengono il costo per l'elaborazione del banner.

**チャオジャーナル無料配布先募集**

- イタリアの各地域への1回の送料：20ユーロ
- クーリエサービスにて送付：ご希望部数100部まで
- 本誌p.2の無料配布先に御社名記載

詳細のお問い合わせ  
 Per maggiori informazioni scrivere a  
[ciao@ciaojournal.com](mailto:ciao@ciaojournal.com)

**CIAO! Journal 無料配布先 (一部)  
 Dove trovare CIAO! Journal**

**Milano** Consolato Generale del Giappone a Milano, JETRO, 日本人学校, Brera歯科, Sagami, Poporoya, Shiro, Ristorante Osaka, G81 Bento & mood, Yazawa, Gastronomia Yamamoto, Tenoha, Tenoha Ramen, Tanabata, Alimentari Gaghe, Tozai, Hair Salon Otto, Hazama, Endo Tomoyoshi, Studio Ypsilon, Università degli Studi di Milano (Facoltà di Mediazione Linguistica), Info Point Milano, JFC Italia, IperCoop Piazza Lodi店内 WARAI

**Roma** Ambasciata del Giappone, Istituto Giapponese di Cultura, 日本人学校, Zensushi

**Torino** IperCoop ParcoDora店内 WARAI, Takoyaki Minamoto

**Pinerolo** IperCoop Pinerolo店内 WARAI

**Genova** Coop Corso Europa店内 WARAI

**Bologna** Ristorante Manyi-Sagami

**Como** Miciscirube

**Modena** Sagami

**Parma** Sagami

**Reggio Emilia** Sagami

**Siena** Sagami

**Palermo** Ho Bento

**Tokyo** Istituto Italiano di Cultura Tokyo, サルトリア・イブシロン

**Kobe** 神戸日伊協会

政界アラカルト

# マッタレツラ大統領 “ビス”

1月の終わり、6日間に亘ってイタリア共和国大統領選挙が行われ、マッタレツラ氏の再選で幕を閉じた。前任のナポリターノ大統領に続き、共和国史上2人目の再任大統領である。

2021年12月31日、恒例の「年末の挨拶」でマッタレツラ大統領は「私の任務はあと僅か（2月3日）で終わります。今度大統領となる人は私事を全て忘れ、我を無にして、国民にとって良いことのみを考えなければなりません」と自らの考えを語り、自分が大統領を継続することはあり得ないことも明言した。その少し前の12月7日、ス



2022年1月29日、セルジョ・マッタレツラ氏は大統領に再選された。  
 foto: Presidenza della Repubblica ©Quirinale.it/Creative Commons

カラ座の初日公演に来賓として訪れた同氏は、観客から大きな拍手をもって迎えられた。「ビス！」（もう一度お願い！）の声とともにそれはなかなか鳴り止まず、イタリア国民がその功績を称え、深く感謝している様子が伺われた。

**イタリア共和国大統領**

「イタリア共和国大統領は共和国の頂点に立つ機関」と憲法で定められており、「立法・行政・司法の三権から独立」した中立的な立場にある。イタリア

において憲法が正常に機能しているかを監視・保証するのがその第一の任務だ。大統領は、上院321名と下院630名、各州議会から任命された選挙人58名から成る合同審議（Seduta comune）によって選出される。現職の大統領の任期満了30日前に下院議長が合同審議会を招集するわけだが、辞任や死亡などで任期満了以前に大統領を選出する必要が生じた場合、その出来事から15日以内に招集される。そしてその任期は7年である。同じ国会が再度同じ大統領を選出することで権力が集中するのを回避する目的で、

イタリア議会の任期5年に対し大統領は7年と定められているのだ。

大統領は、「国会で可決された国際協定の承認」「宣戦布告」「国会解散」「国政選挙の実施」「内閣法案の国会提出を承認」「国会で可決された法令の公布」「国民投票の公示」「首相の任命」などを行う。そして国家防衛委員会と司法高等委員会の最高権威であり、裁判官を任命する権限と、受刑者に恩赦を与えるなどの権限を有する。興味深いのは、大統領が何の制約もなく自由にこれ

お気軽なランチに  
 お仕事の接待に  
 お仕事帰りにちよっと一杯！  
 ご利用下さい。

**SHIRO POPOROYA**

Via Eustachi, 20 Milano  
 02 83972091  
 定休日:日曜日、火曜ランチ

Piazza Lima  
 Via Eustachi  
 Via Malocchi  
 Viale Abruzzi

Piazza VIII Nov. 1917  
**SHIRO POPOROYA**



らの任務を遂行できるよう、その言動は如何なる責任も問われないことだ。事実、「国家反逆と憲法違反に抵触しないかぎり罪に問われない」旨が憲法第90条に定められている（ただし交通事故などで加害者になった場合には一般市民同様に裁かれる）。このように責任重大な職務であるが、イタリア国籍と参政権を持つ50歳以上の市民なら基本的には誰でも大統領になることができると、憲法84条は定めている。

### 意見の一致がないまま投票に突入

与野党双方が納得する人物。国会を解散し、必要とあれば宣戦布告の判断をして一国の運命を左右することになる人物。ロシアとウクライナが一触即発の状況にある今、周辺国であるイタリアがその身を任せられる人…。昨年5月頃から候補に上がっていたプローディ元首相、外相や上院議員を務めたエンマ・ボニーノ氏、リリアーナ・セグレ終身上院議員は一緒に立候補を否定した。一方で自ら立候補したのがロックスターのジャンナ・ナンニーニと、ベルルスコーニ元首相だ（同氏はPDを始めとする中道左派諸党に反対されて立候補を取りやめた）。選挙が差し迫った年末にはカルタビア法務大臣や自殺補助推進者マルコ・カップート氏の名が上がった。

当然、最も信用のあるドラギ現首相の名前もあった。しかし彼が大統領になった場合には首相を辞することになり、国会解散・総選挙となる。次期選挙では「2020年10月19日付け憲法改正法」が適用されて「議員数の半減」という大変化を遂げる。あるいは国会解散をしない場合、2023年の次期選挙まで臨時内閣を立てねばならず、いずれの場合も非常に複雑な状況となることが予想された。

結局1月24日、候補者に関して意見の一致が見られないまま審議会は開会し、投票に突入。大統領には、3回目までの投票で全投票者数の3分の2（最低673票）の得票があった人物、（それで決まらない場合の）4回目以降は半数プラス1票（505票）の絶対多数を得票した人物が選ばれる。ノルディオ前判事、モラッティ前ミラノ市長、ペーラ前上院議長、カセッラーティ現上院議長などの名前が中道右派よ

**桜**吹雪が舞う様子は、しばしば日本人の凛とした精神に見立てられる。日本人のナルシシズムを大いに盛り立てるその光景は、日本文化を象徴する「オブジェ」と言っても過言ではないだろう。写真は、バチカン市国の広大な庭園にある桜の木。ハチスカザクラという種類で、香川県の東かがわ市国際交流協会より2004年に寄贈された。

Spesso si paragona lo spirito dignitoso dei giapponesi a una tempesta di petali di ciliegio che cadono in modo elegante. Questa stessa immagine, che in un certo senso evoca la vanità giapponese, è ciò che rappresenta la cultura giapponese. La foto raffigura i ciliegi nei vasti giardini della Città del Vaticano. Si tratta della varietà *Hachisukazakura*, donata nel 2004 dalla Higashikagawa International Association della prefettura di Kagawa.

Foto: 在バチカン日本国大使館/  
Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede

り上がったものの、左派の反対で3回目まで白紙投票が続いた。4回目から速度を早め、決まるまで1日2度の投票が行われた。1月29日、7回目の投票ではベッローニ情報保全局長やカシーニ前下院議長の名が浮上するも、依然として合意できる人物は現れず。ここに来て、マッタレツァ大統領の元に赴いて再任を承諾してもらえるか打診。そして、同日行われた8回目の投票で、PD、五つ星運動党、Italia Viva、Forza Italia、Legaが同氏に投票して759票が集まり、現行大統領の続投が決定した。なお、投票8回目と聞くと長いように思えるが、かつてレオーネ大統領（1971-78）は何と23回の投票の末に選出されている。

### マッタレツァ大統領

準備を進めていた引っ越しを取り止めて大統領府に舞い戻ることになったマッタレツァ氏は、1941年パレルモ生まれの80歳（初のシチリア出身大統領である）。ローマのサピエンツァ大学法学部を最高点で卒業して弁護士になり、パレルモ大学法学部で教鞭も取っていた。1980年、シチリア州知事を務めていた兄のピエルサンティ・マッタレツァ氏がマフィアに暗殺される。1983年から下院議員（キリスト教民主党→マルゲリター→PD）、文部相、防衛相、憲法裁判所

(p.4につづく)

## 目次 Indice

- p.2 マッタレツァ大統領“ビス”
- p.4 かけあしイタリアのニュース
- p.6 こんにちは！在バチカン日本国大使館です。
- p.6 Qui è l'Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede che vi scrive.
- p.10 カトリックアラカルト  
- かけあし教会の1年
- p.12 教会関係の言葉を使った言い回し
- p.12 Proverbi italiani che si riferiscono alla Chiesa vs proverbi giapponesi
- p.14 だしの話 - うま味
- p.14 Il dashi - Umami
- p.15 Ciao! Journal in piazza  
- 掲示板/annunci
- p.16 日本の祝日
- p.16 Le festività nazionali giapponesi



Ciao! Journal Pubblicazione Periodica

### Registrazione

Tribunale di Milano n°53 del 23/01/2017  
**Direttore Editoriale** Junko Kataoka  
**Direttore Responsabile** Eugenio Bersani  
**Editing e pubblicità** Geienneffe Editore S.a.s.  
**C.F. e Partita IVA:** 09698530962  
**C.C.I.A.A. di Milano REA n°:** MI-2108642  
**Mail:** [ciao@ciaojournal.com](mailto:ciao@ciaojournal.com)  
**Web:** [www.ciaojournal.com](http://www.ciaojournal.com)

**Redazione:** Junko Kataoka, Natsu Funabashi, Isato Prugger  
**Progetto grafico:** Gabriel Suzuki Studio  
**Revisione in italiano:** Fulvio Cattaneo  
**Traduzione in italiano:** Camilla Troisi, Leonardo Benassi  
**Hanno collaborato a questo numero:** Natsumi Kan, Laura Vieceli, Takako Magrini, Fumie Mochimaru, Kyoko Higuma, Masao Yamanashi  
**Foto in copertina:** Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede  
**Tipografia:** Gruppo Stampa GB s.r.l.  
Viale Edison, 627 - 20099 Sesto san Giovanni (MI)  
Finito di stampare nel mese di marzo 2022

Riproduzione riservata ©Geienneffe Editore S.a.s.

かけあし  
イタリアのニュース



2021年12月

●18日、ベルガモ県を震源とする地震(M4.4)。●19日、トリノで屋根修理中のクレーンが倒れて作業員3名死亡、通行人2名負傷。●20日、2月で任期満了のマッタレラ大統領の後継者を巡り、各党が候補者選に躍起。●21日、クリスマスを前に薬局でコロナ検査に長蛇の列。ハンドバイク事故で2020年6月から入院していた元F1ドライバー、パラリンピック金メダリストのザナルディが退院。●22日、1日の感染者3万人超。●23日、大統領候補にベルルスコーニ元首相、モラッティ・ロンバルディア前ミラノ市長、カッシーニ元下院議長らの名。●24日、感染者4万4000人でコロナ禍開始以来最多。●28日、感染者7万8000人。ロンバルディアで2万9000人。コリエレ紙「旅行予約キャンセルが3週間で800万件、ホテルの30%が閉鎖」。●30日、2022年はユーロ導入20周年。●31日、感染者12万6000人。マッタレラ大統領が任期最後の挨拶。

2022年1月

●3日、バヴァリア県の教会で新年のミサの最中、NoVax神父が政府の予防接種

推進政策を批判、一部参列者がそれに抗議して退場。●5日、感染者17万人超。●7日、10日の学校再開を目前に校長2000人が再開延期主張。ロンドンの出版社「サイモン&シュスターUK」の著作権部にいたフィリッポ・ベルナルディーニが、ダン・ブラウンなど著名作家の出版前の原稿を5年前から盗んでいた。同出版社の親会社があるニューヨークの警察に逮捕される。大晦日、ミラノのドウオモ広場でドイツ人女子学生が30人近い青年グループに襲われていた事実発覚。ミラノのインフルエンサー、マルティーナ・マッケローネが自宅外で新年を過ごす様子を投稿したところ、留守宅に泥棒4人が侵入し甚大な被害。●8日、50歳以上にワクチン接種義務。未接種者には2月1日から100ユーロの罰金。●9日、サッカー連盟がスタジアム入場を5000人に制限。●10日、公共交通機関や屋外レストランでスーパーグリーンパス提示義務。●12日、欧州議会のサッソリ議長死去(65歳)。任期満了直前だった。●14日、エリザベス女王がアンドルー王子から「殿下」の称号剥奪。●15日、中道右派が次期大統領候補にベルルスコーニ氏推薦。トリノでモロッコ人男性がパートナーの3歳の娘をバルコニーから投げ落として殺す。●16日、1983年にHIVウィルスを発見した仏ノーベル賞科学者リュック・モンタニエ氏がミラノのNoVaxデモに参加。●17

日、全豪オープン出場のためオーストラリアで11日間待機していたテニス界第1人者のジョコヴィッチ選手、結局予防接種証明書を提示せず、入国許可が下りずに帰国。祖国セルビアとオーストラリアの外交問題にまで発展。ミラノで警官が不良グループに取り囲まれ、ピストルを奪われる。●19日、感染者22万8000人。欧州議会新議長にマルタ出身のロベルタ・メツォラ氏。●21日、トルコの写真家によって世界中に知られるようになった、戦禍で四肢を失ったシリアの男児ムスタファとその家族が治療のため来伊。●22日、ウディネの機械工場で、研修に来ていた男子高校生を鋼鉄材が直撃し死亡。●23日、マッタレラ大統領がクイリナーレ宮引っ越し準備。フェッラーラでNoVaxの医師がコロナで死亡。ウクライナでロシア侵攻の緊張高まる。●24日、イタリア共和国大統領選挙開始。プレシャで若者5人(全員無免許)の乗った乗用車が対向車のバスと正面衝突、全員即死。●26日、予防接種を待っていた10歳男児がコロナで死亡。キアラヴァッレ市(アンコーナ)の市長が職員へのストーキングで告発され、「その女性から100m以内に近づいてはいけない」処分。教皇「自分の息子がゲイでも責めてはならない」。●28日、コリエレ紙「ワクチン未接種の50歳以上は依然160万人」。●29日、国会でマッタレラ大統

政界アラカルト

(p.3からつづく)

判事を務め、2015年からは5つの内閣(レンツィ、ジェンティローニ、コンテ第1次、第2次、ドラギ)の大統領として現在に至る。1年前の2021年2月にコロナ禍の中で、Italia Vivaによって第2次コンテ内閣が倒された後を自ら收拾し、前欧州中央銀行総裁ドラギ氏を首相に指名して内閣を立て直した。イタリアがロックダウンに入った時、「私も散髪に行っていません」と国民を励まし、予防接種も市民に交じって接種し手本を示した。

再選が決定した時、マッタレラ大統領は「義務から身を引くことはできない。三重の緊急事態(コロナ、社会、経済)の只中にある今、個人の選択をするのではなく国に対する責任に応えなければならない」と、自らを叱咤するかのよ

うな言葉で再任要求を受け入れた。コリエレ紙は「イタリア情勢の平穏を保つための基軸として、マッタレラ氏が再選されたのは自然の成り行き」と評価。「少なくとも2023年に控えた総選挙までマッタレラ-ドラギ内閣が続くことで、イタリアは政情の安定と国際的信用を保つことができる」。

内部分裂している場合じゃない

大統領選出ではほぼ足並みを揃えたかのように見えた諸党だったが、決まるとたん不調和が目立つようになった。各党はすぐさま仲たがいを始め、特に中道右派ではフォルツァ・イタリアを中心とした穏健派が連立から離れ、サルヴィーニ・レーガ党首とメローニ・イタリア兄弟党首の意見の不一致が更に顕著になっ

た。五つ星運動党は、前首相で現党首のコンテ氏と外相デ・マイヨ氏の対立が激化し、内部分裂の様相を呈している。

2月24日、ロシアはウクライナ攻撃を開始した。マッタレラ大統領は、再任した途端、前代未聞の「国家防衛最高委員会」を開くことになった。2年に亘るコロナ禍が漸く終わりに近づくかと思われた矢先のことだ。

「イタリア政府はロシアのウクライナ襲撃を非難する。不当であり、許し難い」。下院にてドラギ首相はこう述べた。こうなると、イタリアは党や連立レベルで内部分裂している暇は無くなった。国としての立場を問われる事態に囚らずも至ったのである。

Masao Yamanashi

領再選 (p.2に記事)。

2月

●1日、スウェーデンがコロナ対策の制限廃止。ドラギ首相とプーチン大統領が電話対談で「イタリアへのガス供給は継続する」旨を確認。サンレモ音楽祭。●2日、マッタレラ大統領が国会で拍手のなか就任宣言。●3日、大統領選出後、党間・党内の闘争激化。ロシアがウクライナ国境に兵士13万人を配置したため、米国が欧州に軍隊3000人派遣。●5日、北京冬季オリンピック開会。●6日、ローマのスパランツァーニ病院で初めてコロナ患者を飲み薬「パクスロビド」で治療。オーストリアで成人全員に予防接種義務。●7日、パドヴァで高校生が父親の車を無免許運転し、民家に突入して死亡。ヴァレーゼで高校生2人が高速道路の高架橋から

16キロの岩石投下。●8日、ミラノで時速110キロの強風、中央駅の屋根の一部破損。●9日、名誉教皇ベネディクト16世が、1945~2019年のミュンヘン教区における「聖職者のペドフィリア」報告書について「良心の痛むことは何もない」。●10日、イタリア医薬品庁(AIFA)「コロナ予防接種1000人に1人に副反応、1億800万回で22人の犠牲者」。英仏でコロナ対策の規制緩和。英国の原子炉JETで廃棄物を出さない核融合に5秒間成功。●11日、戸外ではマスク無しに。燃料(天然ガス、石油、電気)の高騰に対処&抗議して主要都市で街灯やイ

ルミネーション消灯。●12日、患者治療の過程でコロナに感染して死亡した医師369名への補償金支払い案、上院で差し止めに。米大統領「ロシアのウクライナ侵攻が切迫」。●13日、米ソ大統領の会談が合意に至らず。ウクライナ在留外国人が国外に避難開始。●15日、緊張の高まるウクライナ問題でショルツ独首相とラブロフ露外相が対談し「まだ交渉の余地あり」。

Natsumi Kan



**プセラ歯科** **フィジオセラピー**  
 一般歯科 偏頭痛 肩こり 腰痛  
 小児歯科 リンパマッサージ  
 矯正歯科

**BRERA STUDIO MEDICO**  
 Via Fatebenefratelli, 4 Milano  
 (地下鉄 Lanza - Turati 近く)  
 日本語専用ダイヤル340-2497054

**GAGHE**  
 Korean & Japanese Food shop

**가게**  
 Korean & Japanese Food shop

korean & japanese food shop  
 Via Piacenza, 24 - 20135 Milano  
 Tel. 02 84076284  
 M3 Porta Romana

**COUPON 10% SCONTO CON "CIAO JOURNAL"**

欧州産新こしひかり

アルプスの豊富な雪解け水が流れ込んだイタリアの肥沃な大地で選りすぐりの契約農家が丹精込めて育てたお米が今年も届きました。田んぼから精米まで日本の技術者に指導を受けた旨みあふれる極上のお米をお試ください。

**YOME NISHIKI**  
 ORIGINAL JAPANESE VARIETY

**ゆめにしき**

欧州産 新こしひかり



世界で一番小さい国

## こんにちは！ 在バチカン日本国大使館です。

「え〜っ、バチカンに大使館なんてあったの？」はい、よく言われます。「バチカンはカトリックの総本山と言うけど、国ってどういうこと？そもそもバチカンってどんな国？」

はい、皆様のそういった疑問にお答えしつつ、バチカンについて、また日本とバチカンの関係についてお話してみましょ。そうそう、実は日本とバチカンは今年、国交樹立80周年を迎えたんですよ。

### バチカンって一体どんな国なの？

バチカンとは、「教皇聖座」(Santa Sede)と「バチカン市国」(Stato della Città del Vaticano)の総称です。教皇聖座は「カトリックの総本山」あるいは「教皇の国」を意味し、宗教機関でありながら国としての側面も持っています。一方、バチカン市国とは「教皇聖座に居所を提供している領域としての国家」を指しています。この国の統治者はローマ教皇です。

テヴェレ川右岸のこの地域一帯が「アゲル・ヴァティカヌス」(Ager Vaticanus=バチカンの地)と呼ばれていたことが、その名の由来とされています。ローマ市内の、城壁で囲まれたその国土の面積は約0.44平方キロ。0.46平方キロの東京ディズニーランドよりも小さいのです。そして、2018年発表のデータによればバチカン市国民(バチカン国籍保有者)は615名です。バチカンを国として、またカトリックの総本山として日々動かしていくためには、これだけ

Il paese più piccolo del mondo

## Ciao a tutti! Qui è l'Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede che vi scrive.

「Eh? In Vaticano c'è l'Ambasciata giapponese?». Proprio così, avete letto bene. «Il Vaticano è considerato la "sede centrale" del cattolicesimo, ma può davvero considerarsi un Paese? Che tipo di Paese è, allora?», vi starete chiedendo. Beh, leggendo questo articolo troverete la risposta a tutte le vostre domande! Tra l'altro, lo sapevate che quest'anno è l'80° anniversario dei rapporti diplomatici tra Giappone e Santa Sede?

### Che tipo di Paese è il Vaticano?

“Vaticano” è il termine generico utilizzato per indicare sia la Santa Sede che lo Stato della Città del Vaticano. In particolare, il termine “Santa Sede” assume due significati: è da intendersi come “sede centrale del cattolicesimo”, ma anche come il “Paese del Papa”. Lo Stato della Città del Vaticano, invece, indica il territorio su cui governa la Santa Sede. Il capo di Stato è il Papa e l'intera area sulla sponda destra del Tevere un tempo era denominata Ager Vaticanus: ecco il perché del nome!

La superficie di questa città-Stato circondata da mura all'interno del territorio di Roma raggiunge appena 0,44 km<sup>2</sup>. A confronto, è addirittura più piccola di Tokyo Disneyland che raggiunge 0,46 km<sup>2</sup>. Inoltre, secondo i dati pubblicati nel 2018, i cittadini della Città del Vaticano sono 615. Questo numero, però, non è lontanamente paragonabile al flusso di persone che ogni giorno entra ed esce dal

Basilica di San Pietro in Vaticano  
©Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede



の人数では到底足りません。そこで、数千の人々がローマなど近隣から日々通勤してきています。

世界で最も小さいこの国は現在183の国・地域等と外交関係を結び、そのうち87の国・地域等が在バチカン大使館を置いています。もっとも、「在」バチカンとはいえ、いずれも0.44平方キロの中に居を構えてはならず、各国の大使館はローマ市内に点在しています。日本国大使館もテヴェレ川の西側、カステル・サンタンジェロの裏手にあり、バチカンの正面玄関であるサン・ピエトロ広場まで歩いて15分程度です。

### バチカン市国はいつできたの？

日本とバチカン市国は偶然にも、同じ2月11日を建国記念日としています。ですがそもそもバチカンという国は、



Paese: ci sono infatti migliaia di lavoratori che arrivano in Vaticano da Roma o dalle città vicine.

Un'altra cosa che è importante sapere è che il Vaticano, noto per essere il più piccolo Paese al mondo, intrattiene rapporti diplomatici con ben 183 Stati e Regioni, 87 dei quali hanno una rappresentanza in Vaticano. C'è da dire

però che le ambasciate non sono posizionate all'interno degli 0,44 km<sup>2</sup> che costituiscono la superficie della città-Stato, ma a Roma. L'Ambasciata del Giappone è infatti una di queste: si trova a ovest del Tevere, alle spalle di Castel Sant'Angelo e a 15 minuti a piedi da Piazza San Pietro, la porta d'ingresso del Vaticano.

### Quando è nato lo Stato della Città del Vaticano?

Il Giappone e il Vaticano condividono la data di fondazione: l'11 febbraio. Quando è nato, però, effettivamente lo Stato della Città del Vaticano? Non molto tempo fa, a dire il vero: all'inizio del XX secolo, per la precisione nel 1929. «Eh? Ma è proprio recente!», starete sicuramente pensando. Sì, la data di fondazione della Città del Vaticano risale al secolo scorso, ma la sua storia ha radici ben più profonde...

Nel 395 d.C. l'Impero Romano si divise in Impero Romano d'Oriente e Impero Romano d'Occidente e, dopo la caduta di quest'ultimo nel 476, diverse popolazioni barbare diedero il via a un periodo ininterrotto di scorrerie all'interno della penisola nel tentativo di dominare il territorio. I Papi che si succedettero tra il V e il VI secolo

教皇領では、歴史的にスイス傭兵を雇ってきた伝統に則り、今でもスイス傭兵が教皇とその周囲を警護している。/Lo Stato Pontificio, come da tradizione storica, ancora oggi assume guardie svizzere a protezione del Papa. ©Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede

いつ頃できたのでしょうか。実は20世紀に入ってから、正確には1929年のことです。「えっ、意外と最近なんだ」。はい、確かに「バチカンという国」としての歴史は浅いです。が、しかし…。

ローマ帝国が395年に東西に分裂し、その西半分にあたる西ローマ帝国が476年に滅亡したあと、イタリア半島では様々な民族による支配や領土の奪い合いが続いていました。そんな中で、5~6世紀の教皇たちがローマ周辺の私有地を相次いで教会に寄進し、さらに756年にフランク王国の王ピピンがラヴェンナ太守領を寄進したことで、イタリア中部の広い範囲が教皇領 (Stato Pontificio) となります。

1861年に統一イタリア王国が誕生し、1870年にローマを併合したとき、王国は教皇庁 (教皇を首長とするローマ・カトリック教会の中央行政機関) に一定額を支払うことと引き替えに、教皇領を占有することを提案します。当時の教皇ピウス9世は受け入れませんでした。が、王国は1871年に一方的に教皇領を廃止し、ローマをイタリアの首都としました。これ以来、教皇は自らを「バチカンの囚人」であると宣言し、引きこもりの状態に入ります。イタリア政府と教皇庁は断交状態に陥ったのでした。

時代は下って1929年、ムッソリーニ首相が現在のバチカン一帯の土地を独立国家と認める提案をし、教皇庁はそれを受け入れます。ラテラノ宮殿 (現在もバチカン所有の建物) でその条約が締結されたことから「ラテラノ条約」と呼ばれ、署名は2月11日に行われました。バチカン市国は1929年2月11日に独立国家として誕生したのでした。

### 在バチカン日本国大使館って何をやってるの？

まず「日本国大使館」とは、基本的に各国の首都に置かれ、その国に対して日本を代表するものです。そして、「相手国政府との交渉

や連絡」「相手国の政治・経済その他の情報の収集・分析」「相手国の人々に日本を正しく理解してもらうための広報文化活動」などを行っています。世界で一番小さい国バチカンを相手にする当館も役割は全く同様です。さらにもう一つ、「邦人の生命・財産を保護すること」も大使館の重要な任務です。現在はバチカンで暮らす日本人の方がいないため、在バチカン大使館に関してはこの活動は限られていますが、お困りのことがあればいつでもご相談ください。

バチカンは世界に13億6千万人もの信者 (2020年のデータ) を持つカトリックの中心であることから、面積の上では小さな国でありながら、その動きや教皇の言動は国際社会において大きな影響力を持っています。常に注目され、各国の元首や組織や団体の代表、カトリックに限らずあらゆる宗教関係者が毎日のように教皇に謁見を求めてやってきます。また、世界中に信者や聖職者がいるということはすなわち、それだけ多くの情報に触れているということでもあり、故にバチカンは強大な情報収集力を持っているとも言われています。非カトリック国の日本人にはピンと来ないところもありますが、バチカンの存在は決して軽く見られるものではありません。

ところで、上述の日本国大使館の活動の中で最もわかりやすいのは、広報文化活動ではないでしょうか。在イタリア大使館や在ミラノ総領事館の主催または共催で、日本の文化を紹介する様々な行事がありますよね。在バチカン大使館も同様に、バチカンの皆様や関係者の方々に日本を知っていただくための活動を行っています。特に今年に国交樹立80周年を迎えた記念の年として、様々な記念事業を展開していく予定です。

videro allargarsi considerevolmente il Patrimonio Sancti Petri (complesso delle immense proprietà terriere possedute dalla Santa Sede nel Lazio e in altre parti d'Italia, n.d.t.) e nel 756 il Re dei Franchi, Pipino il Breve, donò l'Esarcato di Ravenna alla Santa Sede, contribuendo alla costituzione dello Stato Pontificio che finì per occupare un ampio territorio al centro della penisola.

Nel 1861 avvenne l'unificazione del Regno d'Italia e nel 1870, con la presa di Roma, il nuovo Governo propose alla Curia l'annessione dello Stato Pontificio al Regno in cambio di denaro, tuttavia Pio IX rifiutò. Una scelta, la sua, che nel 1871 portò comunque alla decisione definitiva e unilaterale da parte del Governo italiano di anettere lo Stato Pontificio e di proclamare Roma capitale d'Italia, mettendo così fine allo Stato della Chiesa. L'atto però portò alla rottura dei rapporti tra il Governo italiano e la Curia, e il Papa, dichiaratosi "prigioniero in Vaticano", iniziò a condurre una vita di reclusione.

La questione si risolse solamente nel 1929, quando venne proposta l'indipendenza territoriale del Vaticano da parte di Mussolini. Approvati dal Vaticano, gli accordi vennero ufficializzati con la firma dei due alti contraenti a Palazzo del Laterano (edificio tutt'oggi di proprietà del Vaticano), da qui il nome "Patti Lateranensi". L'11 febbraio 1929 lo Stato della Città del Vaticano tornò così a essere indipendente.

### Di cosa si occupa l'Ambasciata del Giappone in Vaticano?

Potete trovare le sedi delle ambasciate giapponesi nelle capitali di ogni Paese e il loro è fondamentalmente un ruolo di rappresentanza diplomatica. In particolare, le ambasciate si occupano di negoziazione e comunicazione politica, di raccolta e analisi di

informazioni in ambito economico-politico e di promozione delle relazioni culturali per fare conoscere il Giappone al Paese ospitante. Ovviamente, anche l'Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede ricopre queste funzioni. Non dimentichiamoci poi di un altro compito, ovvero quello di tutelare la vita e i beni dei cittadini giapponesi. Tuttavia, non essendo attualmente presenti giapponesi residenti all'interno della Città del Vaticano, questo tipo di attività sono al momento limitate. Non esitate però a contattarla in caso di bisogno.

Come ben sapete, il Vaticano rappresenta il cuore del cattolicesimo, religione che al mondo conta ben 1.360.000.000 fedeli (stando ai dati raccolti nel 2020) e, pur essendo un Paese incredibilmente piccolo, ha una vasta influenza nella comunità internazionale: si trova infatti sempre al centro dell'attenzione pubblica! Pensate a quante persone, senza contare Capi di Stato, organizzazioni, delegazioni e credenti di religione cattolica, ogni giorno vengono in Vaticano e richiedono udienza al Papa. C'è anche da aggiungere che, data la numerosità di fedeli e sacerdoti in tutto il mondo, la mole di informazioni con cui entra in contatto il Vaticano è immensa: proprio per questo il Paese è conosciuto per essere particolarmente capace quando si tratta di raccogliere informazioni. Molti giapponesi non cattolici faticano a capirlo, ma la presenza del Vaticano a livello internazionale non è una cosa da prendere in alcun modo alla leggera.

Tornando al ruolo dell'Ambasciata giapponese, tra le varie attività di cui si occupa, ricordiamo il suo impegno nella promozione dei rapporti culturali. Gli eventi dedicati al Giappone in Italia sono tantissimi, sia quelli interamente sponsorizzati dal Consolato Generale del Giappone a Milano o dall'Ambasciata del Giappone in

## 日本とバチカンの国交ってどんな感じ？

1549年、鹿児島に上陸したイエズス会宣教師フランシスコ・ザビエルたちがキリスト教を日本に伝えたのは、ご存知の通りです。彼らに影響を受けたキリシタン大名の子息らが名代（みょうだい）となり、天正少年遣欧使節団としてローマに送られました。使節団は1584年にヨーロッパに到着、トスカーナ大公国を経て1585年3月22日にローマに入り、翌23日に教皇グレゴリウス13世に謁見しました。ですが高齢の教皇はその直後に天命を全う。コンクラーベ（教皇選出選挙）の間、使節団はローマに足止めされます。

新たにシクストゥス5世が聖座につくと、使節団は戴冠式行列に参列しました。行列の様子がバチカン図書館の壁に描かれているのですが、彼ら4人の姿が大勢の中にちゃんと確認できるのです。天正少年使節団は当時のイタリアやヨーロッパの人々にとって世紀の大事件であったため、たくさんの記述が残されています。しかしその姿を描いたものは多くありません。従ってこれは貴重な資料だと言えます。

その30年後、今度は仙台藩の伊達政宗により支倉常長が派遣されます。常長はメキシコ経由でスペインに入り、1615年10月にローマに近い港町チヴィタヴェッキアに上陸。11月3日に教皇パウルス5世に謁見しました。通訳として日本より同行したフランシスコ会修道



イタリア大統領官邸に描かれた支倉常長の壁画／Ritratto di Hasekura Tsunenaga al Quirinale (Agostino Tassi, Giovanni Lanfranco e Carlo Saraceni, 1616)

Italia, sia quelli svolti con la loro collaborazione. Anche l'Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede si impegna nella promozione della cultura giapponese in Vaticano. Quest'anno, in particolare, si celebra l'80° anniversario dei rapporti diplomatici tra i due Paesi e per festeggiare sono in programma diversi eventi.

## Come sono le relazioni diplomatiche tra il Giappone e la Santa Sede?

L'anno in cui il Giappone entrò per la prima volta in contatto con la religione cristiana fu il 1549, quando giunse a Kagoshima il missionario gesuita Francesco Saverio. I figli dei *daimyō* convertiti al cristianesimo, in qualità di rappresentanti (*myōdai*), diedero il via a quella che sarebbe stata definita la "missione in Europa dei ragazzi dell'era Tenshō", la delegazione della prima missione diplomatica verso Roma.

Delegazione che arrivò in Europa nel 1584 e che, passando per il Gran Ducato di Toscana, il 22 marzo 1585 raggiunse Roma, dove il giorno successivo fu ricevuta in udienza da Papa Gregorio XIII. Tuttavia, di lì a poco l'anziano Papa sarebbe morto, cosa che impedì

士ソテロと共に、常長はローマ市民権証書を受けます。常長については、ほぼ等身大の全身肖像画が1枚伝わっており、在バチカン日本国大使公邸にもその複製が飾られています。

そしてなんと、大統領官邸クイリナーレ宮殿でも常長の姿が見られるのです。イタリア共和国の様々な公式行事の会場となる「コラツィエーリの間」の壁の上方に、テラスから身を乗り出す人々を描いた「騙し絵」があります。ここはかつて教皇の住居であり、当時、謁見に訪れた8つの外国使節団を教皇自身が描かせたのでした。その中に美しい着物姿の常長やソテロ、従者らもいるのです（左下の画像）。クイリナーレは予約制で一般に公開していますので、是非とも一度訪れてみてください（<https://exhibit.quirinale.it/qvv/visitavirtuale/palazzo.html>）。

この2つの使節団が帰国してのち、日本は200年余りの鎖国に入ります。日本からの使節が次にローマを訪れるのは1873年で、明治に入ってから。イタリアを訪れた岩倉使節団が、ほぼ忘れ去られていた天正や支倉の記録を各地で「発見」し、その再評価のきっかけとなりました。

1921年には裕仁皇太子殿下（後の昭和天皇）が教皇庁を訪問するなど、双方の交流は続いていたものの、カトリックの総本山との外交関係に当時の日本では反対も多く、両国間で正式に国交が樹立するには1942年まで待たねばなりません。第二次世界大戦中になぜ日本とバチカンが国交を結んだのか、その経緯については当時の資料などを当たり、当館でもまとめて公開できればと考えております。

alla delegazione di lasciare Roma durante il Conclave. Eletto Sisto V, la missione partecipò alla cerimonia di incoronazione papale: una celebrazione, questa, che venne ritratta sulla lunetta della Biblioteca Apostolica Vaticana: osservando l'affresco, si possono chiaramente identificare i quattro ragazzi della delegazione! Essendo stata per gli europei e per gli italiani dell'epoca la notizia del secolo, sono riusciti a giungere a noi un buon numero di documenti a testimonianza del loro passaggio. Di questi però, sono poche le rappresentazioni figurative, ed è proprio per questo motivo che l'affresco della Biblioteca Vaticana ha un valore inestimabile.

Trent'anni dopo fu il turno di Hasekura Tsunenaga che, incaricato dal *daimyō* di Sendai Date Masamune, condusse una nuova missione in Europa. Giunse in Spagna passando per il Messico, per poi attraccare nell'ottobre del 1615 a Civitavecchia e ottenere udienza da Papa Paolo V il 3 novembre. Durante la missione venne inoltre conferita ad Hasekura, assieme al francescano Luis Sotelo, che lo aveva accompagnato dal Giappone in veste di interprete, la cittadinanza romana onoraria. Di lui è rimasto un dipinto che lo ritrae a figura intera e di cui è esposta una riproduzione nella residenza ufficiale dell'Ambasciatore giapponese presso la Santa Sede.

È possibile ammirare la figura di Hasekura anche al Quirinale, per la precisione nel Salone dei Corazzieri. Osservando la parte superiore delle pareti della sala, oggi usata per le più solenni cerimonie dello Stato della Repubblica Italiana, si scorge un trompe-l'œil in cui sono dipinti alcuni uomini mentre si sporgono da un balcone. Un tempo, il Quirinale era la residenza del Papa, il quale fece ritrarre sulla parete otto delegazioni estere: tra queste, si possono ammirare Hasekura con indosso un bellissimo kimono, Sotelo e i loro attendenti (vd immagine). Il palazzo del Quirinale di solito è aperto al pubblico su



夕焼けのなかのサン・ピエトロ。ボルゲーゼ公園からの眺めです。／San Pietro al tramonto. La vista da Villa Borghese.  
©Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede

### 日本とバチカンが協力してやっていることって？

2014年にNTTデータ社がバチカン図書館所蔵図書のデジタル化に着手し、第一段階として手稿文献全3千冊が公開されました。この検索システムを使うと、誰でも、どこからでも、自由にバチカン図書館所蔵図書にアクセスできます (<https://digi.vatlib.it>)。扱いの難しい貴重な手稿図書を未来に残し、かつ閲覧も可能になるようにと進められたプランが、パンデミックの中で世界中の研究者

の大きな助けになったことは間違いありません。

また、「マレガ・プロジェクト」もここでご紹介したいと思います。2011年にバチカン図書館において、大分県豊後地方のキリシタン資料が大量に発見されました。これは、サレジオ会宣教師マリオ・マレガ神父が大分教会に在任した1932～50年に収集したもので、およそ1万点に及びます。この資料群の調査と研究のためにバチカンと日本、欧州の研究者と一緒に立ち上げたのが「マレガ・プロジェクト」です。その集大成が近く出版される予定です (<https://www.nijl.ac.jp/projects/marega/>)。

2019年には角川文化振興財団が「日本とバチカン100年プロジェクト」を発表しています。バチカン内外に手つかずで眠る資料を調査し、「知られざる日本-バチカンの関係の歴史」についての研究を進めようというものです。

皆様にとっても、日本とバチカンの関係は謎に満ちているのではないのでしょうか。国交樹立80周年の今年、色々な形で順次ご紹介できればと思います。

appuntamento: vi consigliamo assolutamente di andare a visitarlo (<https://exhibit.quirinale.it/qvv/visitavirtuale/palazzo.html>).

Al ritorno dei due delegati, il Giappone tuttavia decise di chiudere le proprie frontiere e dare inizio a quello che per i successivi 200 anni sarebbe stato il Sakoku (la politica di isolamento del Giappone). Fu solo nel 1873, ovvero nel periodo Meiji, che dei rappresentanti giapponesi tornarono a Roma: in quell'occasione, la missione Iwakura riesumò i preziosi documenti della missione Tenshō e di quella di Hasekura, ormai quasi completamente dimenticati, offrendo così la possibilità di riesaminarli.

Nel 1921, il principe erede al trono Hirohito (che sarebbe poi diventato Imperatore Shōwa) fece visita alla Curia. Tuttavia, all'epoca in Giappone molti erano contrari all'idea di intrattenere relazioni diplomatiche con il Vaticano, questo nonostante entrambi i Paesi stessero comunque continuando in parallelo i loro rapporti di scambio. Ecco perché si dovette aspettare fino al 1942 per poter avviare ufficialmente le relazioni diplomatiche tra i due Paesi. Il motivo per cui questo avvenne durante la Seconda Guerra Mondiale è descritto nei documenti dell'epoca recuperati fino a oggi. Documenti che l'Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede vorrebbe riuscire a pubblicare.

### Per quanto riguarda invece la cooperazione tra Santa Sede e Giappone?

Nel 2014 NTT Data ha dato inizio all'impresa di digitalizzare i documenti presenti nella Biblioteca Apostolica Vaticana pubblicando, in una prima fase, 3000 manoscritti. Usando questo sistema di ricerca, ora tutti possono accedere ai libri della Biblioteca in piena libertà (<https://digi.vatlib.it>) e ovunque vogliono. Il progetto

aveva come scopo proprio quello di lasciare alle generazioni future la possibilità di consultare i preziosi manoscritti. Non c'è dubbio, poi, che durante la pandemia questa ardua impresa si sia rivelata di straordinario supporto per tutti i ricercatori del mondo!

Un altro progetto che vorremmo presentarvi è il "progetto Marega". Nel 2011, tra i documenti della Biblioteca Apostolica Vaticana, sono stati scoperti molti testi di cristiani nascosti provenienti dalla provincia di Bungo, nell'attuale prefettura di Oita. Fu Mario Marega dell'ordine dei Salesiani a raccogliermi tra il 1932 e il 1950, fino a raggiungere la quota di circa diecimila documenti. Ecco come è nato il progetto Marega: dalla collaborazione di ricercatori vaticani, europei e giapponesi per esaminare e studiare i manoscritti di questa immensa collezione. Sappiate che, tra l'altro, il loro duro lavoro verrà presto pubblicato (<https://www.nijl.ac.jp/projects/marega/>).

Infine, nel 2019, la Kadokawa Culture Promotion Foundation ha annunciato un nuovo progetto: "Vatican and Japan 100 Years Project". Team di ricercatori specializzati in diversi settori esamineranno documenti che fino a oggi erano rimasti nascosti e si dedicheranno alla ricerca di ciò che si cela dietro la storia delle relazioni tra Santa Sede e Giappone.

Probabilmente anche per voi, cari lettori, i rapporti tra i due Paesi rimangono avvolti da una nube di mistero: per l'80° anniversario delle relazioni diplomatiche tra Santa Sede e Giappone speriamo però di riuscire a dissiparla.

在バチカン日本国大使館／  
Ambasciata del Giappone presso la Santa Sede  
(traduzione in italiano: Camilla Troisi)

**Hair Salon Otto** 日本語対応しています  
Milano - Tokyo

Milano via Macedonio Melloni, 4  
02 7600 1502 close monday  
Milano via Festa del Perdono, 8  
02 8492 6224 close tuesday  
Opening time: 10 am till 8 pm  
ottohairmilano@gmail.com

ここからご予約いただけます

SCOPRITE IL VERO GUSTO DEL GIAPPONE!

**和**

**WARAI**  
SUSHI & ORIGINAL JAPANESE CUISINE

QR code, Facebook, Instagram icons

# かけあし教会の1年

カトリック教会では、「キリストの神秘」(キリストの霊的な真理)を1年を通じて順に記念していきます。でも一体どんな記念日があるのでしょうか。教会暦の1年を順に見ていきましょう。

**Giorno del Signore**：まずは「主日」。主イエス・キリストが日曜日に復活したことから、主日とは日曜日を指して言う言葉です。

**Avvento**：教会暦の新しい年は「待降節」から始まります。そして、「第1主日」(Primo Avvento=クリスマスから4つ前の日曜日)からクリスマス前日までの約4週間が待降節。キリストの降誕を待ち、その準備をする期間です。アドベントカレンダーは降誕までの日数を数えるためのもの。クリスマス前にはスーパーでも子供向けのチョコ入りカレンダーが山積みになりますよね。

教会では、救い主キリストの誕生を待望してこの4回の日曜日にキャンドルを灯していきます。1番目の日曜日には紫のキャンドル、その意味は希望。2番目も紫で信仰、3番目はピンクで喜び、そして4番目の紫はエンゼルキャンドルと呼ばれ、平和を表します。

**Immacolata Concezione**：待降節の期間に訪れる12月8日は「無原罪の御宿り」の祝日。「聖母マリアが、神の特別な計らいによって母アンナの胎内に宿った瞬間から原罪を免れていた」とする教義の記念日です。

**Natale del Signore**：12月25日は「主の降誕」の祝日。いわゆるクリスマス。

**Tempo di Natale**：24日夕刻の「前晩の祈りのミサ」終了後から「降誕節」です。そして主の降誕直後の日曜日は「聖家族の主日」(Sacra Famiglia)です。2022年度の教会暦では12月26日でした。本来ナターレの翌日は「聖ステファノ殉教」の大切な祝日ですが

(聖ステファノはキリスト教における最初の殉教者)、この度はそれが日曜日と重なったために聖家族が優先されました。

12月31日には「1年の感謝のミサ」があります。1月1日は「神の母聖マリア」の祝日(Madre di Dio)。6日は「ご公現」の祝日(Epifania)。キリストの誕生を知った異国の博士来貢を通して、「神が世に現れた」ことを記念する日です。その直後の日曜が「イエスの洗礼の主日」(Battesimo di Gesù)で、この日をもって降誕節終了。待降節に始まる一連のナターレ関連行事が終わります。イエスの洗礼は「ヨルダン川にて洗礼者ヨハネ(サン・ジョヴァンニ)からイエスが洗礼を受けた」出来事を記念しています。



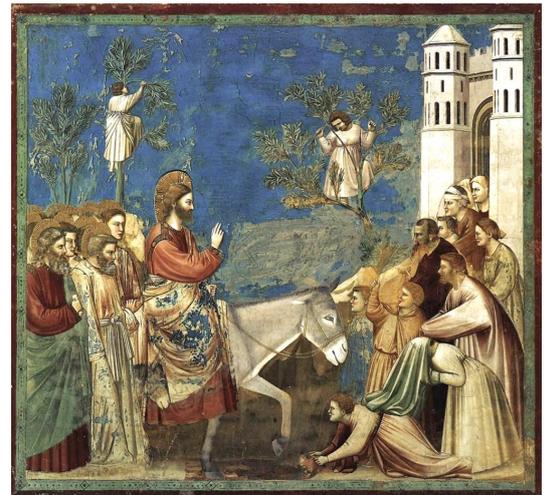
“Battesimo di Gesù Cristo” Andrea Verocchio, Leonardo da Vinci, 1475 circa, Galleria degli Uffizi, Firenze

**Tempo Ordinario**：降誕節と四旬節(後述)の間は「通常の期間」と呼ばれ、キリストの神秘ならびに聖人たちの祝日を順に祝っていきます。まず、マリアに続く偉大な聖人といえば聖ヨゼフ(サン・ジュゼッペ)で、3月19日とその記念日(彼はキリストの養父であったことからイタリアでは父の日ともなっています)。他にも様々な重要な聖人がいるわけで、Tempo Ordinarioは「通常」であるとはいえ結構忙しい…。

**Mercoledì delle Ceneri**：クリスマス休暇が終われば、子供たちの次のお楽しみはカーニバル(Carnevale)でしょう。これは教会暦とは関係の無いものですが、元はラテン語の「carnem(肉を)levare(取り除く)」を語源とし、四旬節前夜の「肉に別れを告げる宴」を指して言う言葉でした。現在のカーニバルは宗教的な姿を留めず、単なるお楽しみ行事になっているのはご存知の通り。

「肥沃な火曜日」(Martedì Grasso)に肉とお別れした後、「灰の水曜日」(Mercoledì delle Ceneri)のミサでは信者の額に聖灰で十字架のしるしをつけます。この日から季節は四旬節に入っていきます。

**Quaresima**：「四旬節」。四旬とは40日のこと。復活祭の日曜日から46日前の水曜日(日曜を除いて数えると40日前)がその第1日目。四旬節はキリストが荒野で40日間の断食をしたことが由来なので、自分の行いを省み、慎み深く過ごす期間です。従って灰の水曜日には断食(または最小限の食事を1日1回)を行います。

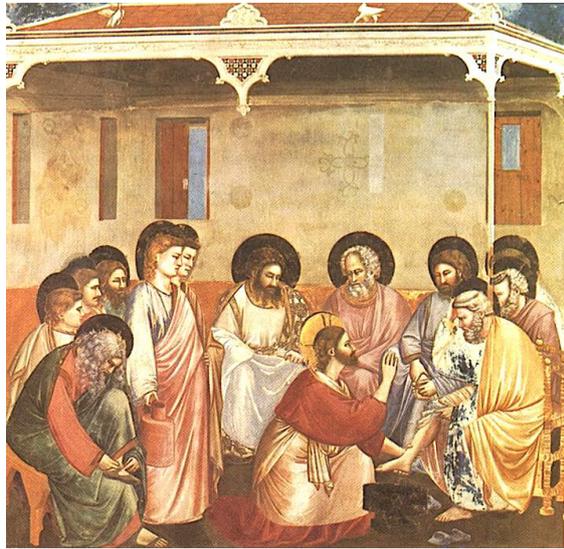


“Ingresso a Gerusalemme” Giotto, 1303-05 circa, Cappella degli Scrovegni, Padova

**Domenica delle Palme**：復活祭の1週間前の日曜日が「棕櫚(しゅ

ろ)の主日」。パチカンのサンピエトロ広場で枢機卿たちが綺麗に編まれた棕櫚の葉を持って行列するのを、テレビなどでご覧になったことはありませんか？イエスのエルサレム入城を大歓声をもって出迎える民衆を再現しています(その数日後にはその同じ民衆が「イエスを磔刑にせよ」と叫ぶのですが…)。各教会ではこの日、信者が持ち寄った棕櫚やオリーブの枝に聖水をふって祝別します。この日から聖週間に入ります。

**Settimana Santa**：「聖週間」の「聖木曜日」(Giovedì Santo)からの3日間を「Triduo Pasquale」(過越の聖なる三日間)と言い、キリストの受難・死・復活を黙想する日々です。



“Gesù lava i piedi a Pietro” Giotto, Cappella degli Scrovegni, Padova

聖木曜日、イエスが弟子たちの足を洗ったことを再現する「Lavanda dei Piedi」（洗足式）で、司祭などが信者の足を洗います。そしてその夕方がいよいよ「最後の晩餐」（Ultima Cena）。その夜のミサは通常とは異なり、結びの「Benedizione」（祝福）の祈りを唱えずに信者は無言で解散します（そのあとイエスが捕らえられるのですから…）。そして金曜と土曜にはミサがありません（主がいいためです）。

聖木曜日から各教会では「Santo Sepolcro」（イエスの墓）の飾りつけが施され、ホスチア（ミサにおいて使う祝別されたパン。キリストの聖体）は隠され、ホスチアを納めておく聖櫃（せいひつ）は空にされます。聖なる3日間に「1日で7つの教会のSanto Sepolcroを訪問する」という習慣もあります。7つの教会巡りはしなくても、復活祭前には「Confessione」（罪を告白して赦しをいただく秘蹟）を行って魂を清める必要があります。

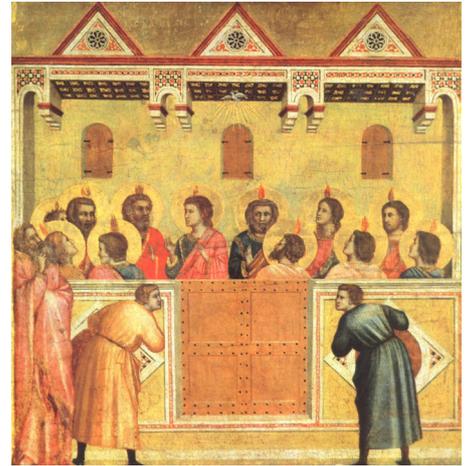
そして「聖金曜日」（Venerdì Santo）には「十字架の道行き」（Via Crucis）が行われます。キリストの受難を思い起こすための特別な祈りで、この行事は各地で見られますが、ローマ教皇自らも十字架を背負って祈りながらローマの道を歩きます。そして聖金曜日にも断食を行います。ちなみに1年を通して金曜日は常に肉食を避けます。

**Pasqua di Risurrezione del Signore**：「復活の主日」。死んだイエスが3日目に復活したことを記念する最も重要な主日。今年は4月17日です。その前夜に執り行われるミサを「復活の聖なる徹夜祭」と呼び、ここから復活祭が始まります。

**Tempo di Pasqua**：復活祭から聖霊降臨までの期間が「復活節」。  
**Pentecoste**：「聖霊降臨」も非常に重要な主日です。復活の主日から（を入れて数えて）50日目の日曜で、今年は6月5日。集まった弟子たちの頭に炎が載っている絵をご覧になったこと、ありません

か？これは「神からの聖霊が降った」という出来事を表しています。ゲッセマネの園でイエスが捕らえられた時に主を置いて逃げた弟子たちでしたが、聖霊に強められた結果、壮絶な殉教死をするまで各地を歩いて宣教したのでした。

**Tempo Ordinario**：ペンテコステが終わったら再び「通常の期間」。ペンテコステの1週間後の日曜日が「三位一体の主日」（Santissima Trinità）で、「救いが父と子と聖霊による」ことを思う日です。更にその1週間後が「キリストの聖体の主日」（Santissimo Corpo e Sangue di Cristo）で、最後の晩餐の際にイエスが



“Pentecoste” Giotto, 1300 circa, National Gallery, London

「パンは自分の体であり、ぶどう酒の杯は自分の血である」と言った言葉に従って記念祭儀をします。8月15日は「聖母被昇天」の祝日（Assunzione）。11月1日は「諸聖人」の祝日（Tutti i Santi）で、全ての聖人と殉教者を記念する日です。最後は「王たるキリストの主日」（Nostro Signore Gesù Cristo Re dell’Universo）。「キリストの真の王権を強調」するための日で、第1主日の前週の日曜日に当たります。この週を最終週として、教会暦の1年は終了です。

いかがでしたか？このように教会暦には「待降節」「降誕節」「四旬節」「復活節」「通常」の5つの期間があるのです。こういった一連の祝日や行事の意味を理解しておく、カトリック国イタリアの人々の生活習慣や考え方が理解しやすいのではないのでしょうか。参考にしていただけましたら幸いです。

Takako Magrini



**Giacca leggera**

上品かつ緻密な ジャッカ・レジェーラ

人それぞれの寸法を捉えることで生地は自然に垂れ、美しいラインが生まれ、身体の一部となる。

着用者だけが特別な体感を得られる、究極のジャケット。

Barbottoria Ppsilon

イタリアに少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にご入会ください

**神戸日伊協会**

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE DI KOBE  
日伊両国間の、民間レベルでの相互理解、友好親善を深め、あわせて会員間の親睦をはかります。

■神戸日伊協会・年会費

個人会員お一人	5,000 円
*ベア会員	8,000 円
法人会員一口	30,000 円<いずれも税込み>

\*ベア会員でご夫婦、親子など、会報等の送付先、その他連絡先が、同一の方

〒651-0096 神戸市中央区雲井通 7-1-1 「ミント神戸」17 階  
神戸新聞文化センター（KCC内）

**神戸日伊協会**  
TEL. 078 (265) 1100 FAX. 078 (265) 1105

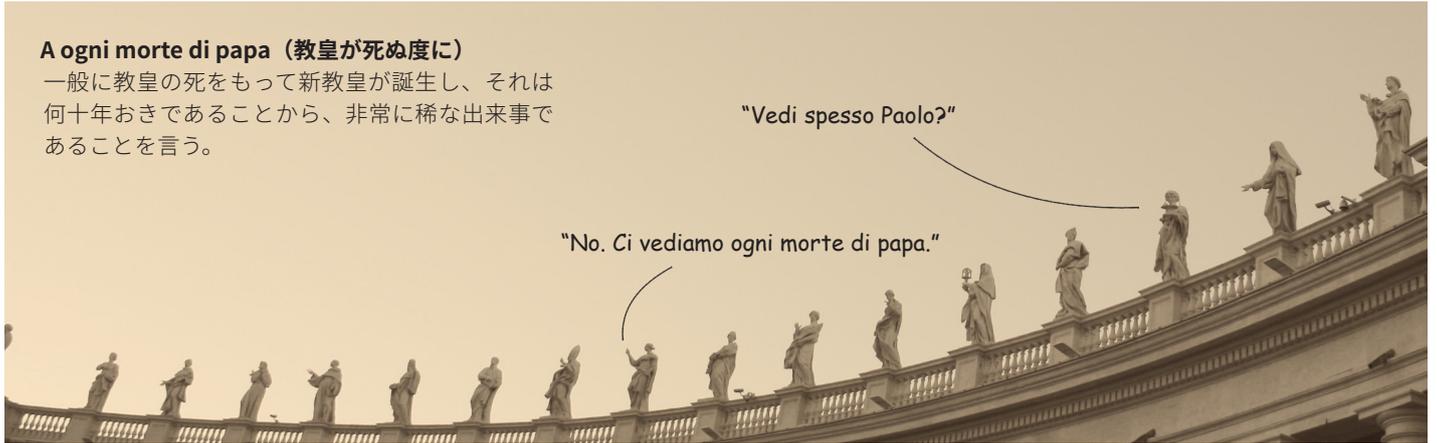
Giappone vs Italia

**A ogni morte di papa (教皇が死ぬ度に)**

一般に教皇の死をもって新教皇が誕生し、それは何十年おきであることから、非常に稀な出来事であることを言う。

"Vedi spesso Paolo?"

"No. Ci vediamo ogni morte di papa."



**教会関係の言葉を使った言い回し**

イタリア語には教会にまつわる言い回しが数多くあります。いくつか取り上げて、日本の諺や言い回しと比べてみましょう。

**Proverbi italiani che si riferiscono alla Chiesa vs proverbi giapponesi**

*In Italia ci sono innumerevoli detti, modi di dire e proverbi che si riferiscono al mondo cattolico. Vediamone alcuni, confrontandoli con i detti giapponesi che hanno dei significati simili.*

**Chi entra papa in conclave, esce cardinale (コンクラーヴェに教皇として参加し、枢機卿として退出する)**

自分が選ばれるかと期待しながら教皇選挙に参加した枢機卿が、選ばれずに枢機卿として出てくる。転じて、勝利は実際に得るまで確かなものと思てはならない。日本の言い回しで言うと「取らぬ狸の皮算用」であろうか？ まだ捕まえてもいないうちから、狸の皮を売ったらいくら儲かるか計算する。手に入れていないものを当てにして様々な計画を立てること。あれこれ先走るなど論している。

**Chi entra papa in conclave, esce cardinale**

Riferito ai cardinali che partecipano al Conclave sperando di venire eletti Papa, ma poi ne escono cardinali come prima. Significa che non è mai il caso di essere certi della vittoria fino a quando non la si ottiene davvero. Ricorda il detto giapponese "Toranu tanuki no kawa zanyō (lett. Fare il calcolo della pelle di un procione non ancora catturato)": si riferisce a chi si fa i conti del guadagno senza aver neanche catturato il procione; metafora dei progetti basati su guadagni non ancora ottenuti. Il detto suggerisce di non essere presuntuosi e di fare le cose passo dopo passo.

**Sbaglia anche il papa a dire messa (教皇もミサで間違えることがある)**

その道に長じた人でも間違えることがある。日本語でも「猿も木から落ちる」や「弘法にも筆の誤り」など、いくつかある。

**Sbaglia anche il papa a dire messa**

Significa che tutti possono sbagliare. Tra i detti simili giapponesi citiamo: "Saru mo ki kara ochiru (lett. Anche le scimmie cadono dagli alberi)" o "Kōbō nimo fude no ayamari (lett. Anche Kōbō -un celebre monaco buddista- sbaglia scrivendo).

**Morto un papa se ne fa un altro (教皇は死んでも次がいる)**

教皇が亡くなると他の教皇が選出される。転じて、代わりのきかない人などいない。「あいつがいなくても他がいるさ」といった意味のアイロニカルな言い回し。一方、日本語の「余人をもって代えがたし」は全く反対の意味で、誰にもその人の代わりは務まらない。ゴリ押しの人事をするときなんかに使われる便利な言い回しらしいですよ…。

**Morto un papa se ne fa un altro**

Quando muore un Papa se ne elegge un altro: spesso usato in modo ironico, significa che nessuno è insostituibile. Ricordiamo, invece, un detto giapponese con un significato opposto: "Yojin wo motte kaegatashi (lett. Difficile da sostituire con le altre persone)", nessuno può svolgere il ruolo di una determinata persona. Spesso nelle aziende giapponesi pare che si segua questo principio per salvaguardare il proprio ruolo.

**Andare a Roma e non vedere il papa (ローマに行ったが教皇に会わず)**

本当の目的にたどり着かない。転じて物事の重要な側面を把握していない。日本語なら「仏作って魂入れず」だろうか。仏像の仕上げは魂を入れることであり、魂を入れなければ、それはただの物質の塊に過ぎない。一番大切で肝心の仕上げをしていない。

**Andare a Roma e non vedere il papa**

Non raggiungere il risultato desiderato; non cogliere l'aspetto più importante di qualcosa. Simile al detto giapponese "Hotoke tsukutte tamashii irezu (lett. Non aggiungerci l'anima dopo aver costruito il Buddha)": una statua di Buddha senza l'aggiunta dell'anima non sarebbe nient'altro che un oggetto; se manca l'elemento fondamentale ogni sforzo diventa vano.

**Alla viva il parroco (神父万歳ふう)**

子供たちが教会の庭でルールにあまり注意を払わずにサッカーをするときのように、大雑把に行われた物事につい

**Alla viva il parroco**

Per dire di cose fatte in maniera molto approssimativa, come quando si gioca a calcio negli oratori senza dare troppa attenzione alle regole. In Giappone abbiamo "Surikogi de jūbako arau (lett. Lavare lo jūbako con un pestello)": è impossibile lavare un contenitore quadrato con un pestello che ha l'estremità rotonda; indica dunque, un lavoro svolto alla carlona. Invece

て言う。日本語では「すりこぎで重箱洗う」。先が丸いすりこぎでは四角い重箱の隅々まで洗えないことから、大雑把なことをするという意味。逆の意味の言い回しに「重箱の隅をつつく」というのがある。物事の取るに足らない部分ばかりにわざわざ注目し、難癖をつけること。

### Fare il giro delle Sette Chiese (七つの教会の訪問)

特にお役所主義に言及して、多くの時間を無駄に浪費すること。かつて巡礼者たちがローマの七つの重要な教会を巡る決まりになっていたことから。日本語の「堂々巡り」は話が先に進まないという意味。寺の本堂の周りを百度回って祈る習慣から。

### L'uomo propone e Dio dispone (人間は提案し、神は采配する)

予定を立てることはできても、現実のものになるかは自分の意志だけではどうにもならない。転じて己の運命を知る者などいない。日本でよく言われるのは「神のみぞ知る」。ソクラテスの言葉を我々日本人も使わせていただいております、はい。

### Il diavolo non è poi tanto brutto quanto lo si dipinge (悪魔は思い描くほどには悪くない)

困難や恐怖、逆境は、打ちのめされるほど恐ろしいものじゃない。それを乗り越えたり共存したりする方法がきっと見つかりますよ！ 日本では「禍（わざわい）を転じて福と為す」とよく言う。自分の身にふりかかった災難や失敗をうまく利用して、逆に自分の有利になるように工夫すること。

### La farina del diavolo va tutta in crusca (悪魔の小麦粉は全てぬかに)

不誠実に物事を獲得すると、全部自分に返ってくる。日本語にもこれに似た言い回しはいくつかあり、「自業自得」「身から出た錆」は自分の悪い行いの報いを自分が受けること。

### Avere dei santi in paradiso (天国に聖人を持つ)

影響力のある重要人物にコネがあり、保護されること。日本語の「親方日の丸」は、親方（経営者）が日の丸（国家）がらみだと万事うまくいって万歳だという意味。「寄らば大樹の陰」は、どうせ頼るなら大きくて力のあるものに頼ったほうが安心できるし得であるという、もっと“積極的な”表現である。

### San Giovanni non vuole inganni (聖ヨハネは騙さない)

フローリン金貨（イタリアで1252~1523年に鑄造された金貨）に聖ヨハネのデザインがあれば、それが本物の保証となったことを言う。日本の「お墨付き」という言葉は、武家の公文書に墨などによる「黒印」が押されたことに由来し、権威者からもらった保証。「太鼓判」は太鼓のように大きな印判で、確実であるという保証。「良い作品だと師匠からお墨付きをもらった」「君は絶対合格する！太鼓判を押すよ」という風に使う。

abbiamo un proverbio opposto: “*Jūbako no sumi wo tsutsuku* (lett. Stuzzicare gli angoli dello *jūbako*), espressione che indica delle situazioni in cui si prendono in considerazione degli aspetti irrilevanti delle cose per criticarle.

### Fare il giro delle Sette Chiese

Andare da un posto all'altro perdendo molto tempo inutilmente, riferito soprattutto alle lungaggini burocratiche. L'espressione nasce dalla tradizione cristiana che riguarda il giro delle sette principali basiliche a Roma. L'espressione giapponese “*Dōdō meguri* (lett. Giro del santuario)” nasce invece dalla tradizione di fare il giro attorno al *hondō* (sala principale del complesso di un tempio buddista) 100 volte per pregare: modo di dire per indicare dei dialoghi e dei pensieri che si soffermano sullo stesso punto e che non vanno avanti.

### L'uomo propone e Dio dispone

Significa che si possono fare piani ma che la loro realizzazione non dipende solo dalla volontà del singolo. Inoltre, che nessuno può conoscere in anticipo il proprio destino. In Giappone si dice “*Kami nomizo shiru* (lett. Solo Dio sa)”, ossia, “Sapiente è solo Dio”: ebbene sì, sono le parole di Socrate utilizzate anche in Giappone.

### Il diavolo non è poi tanto brutto quanto lo si dipinge

Significa che le difficoltà, le paure, le avversità non sono mai tanto terribili come spesso ci si prefigura. Alla fine si trova un modo per superarle o conviverci! In Giappone si dice spesso: “*Wazawai wo tenjite fuku to nasu* (lett. Fare in modo che la sfortuna si trasformi in fortuna)”; facciamo sì che gli errori e le disgrazie che si abbattano su di noi possano tornare a nostro vantaggio.

### La farina del diavolo va tutta in crusca

Significa che ciò che si ottiene con disonestà ci si ritorcerà contro. Abbiamo un paio di proverbi giapponesi simili, tra questi “*Jigō jitoku* (lett. Propria azione, proprio guadagno)” o “*Mi kara deta sabi* (lett. Ruggine che esce dal proprio corpo)” per ammonire che se ci comportiamo male andremo a finire male.

### Avere dei santi in paradiso

Significa essere raccomandati, protetti da qualche personaggio importante e influente. Ricorda l'espressione giapponese “*Oyakata hi no maru* (lett. Boss, cerchio del sole)”: se hai un *oyakata* (l'amministratore) raccomandato del *Hinomaru* (lo Stato giapponese), tutto si risolverà senza impicci. “*Yoraba taiju no kage* (lett. Se devi appoggiarti, stai nell'ombra di un grande albero)”: espressione che ci suggerisce di affidarci a un individuo con potere, per poter stare tranquilli e trarne vantaggio.

### San Giovanni non vuole inganni

Si riferisce all'immagine di S. Giovanni che era stampata sui fiorini (moneta coniata in Italia tra il 1252 e il 1523), la quale rappresentava una garanzia di autenticità. La parola giapponese “*Osumi tsuki* (lett. Con inchiostro), deriva dal timbro a inchiostro nero con cui i *buke* (nobiltà militare) erano soliti a firmare i comunicati ufficiali; è sinonimo di garanzia da parte di un personaggio con potere. “*Taiko ban* (lett. Timbro a *taiko*)” è metafora di un timbro grande quanto il tamburo *taiko*: anch'esso è un'espressione che viene utilizzata quando si vuole garantire autenticità. Ecco alcuni esempi: “Il maestro ha apprezzato la mia opera e mi ha dato l'*osumitsuki*”, “Passerai sicuramente l'esame! Ti metto un *taiko ban*”.

Laura Vieceli, Junko Kataoka  
(traduzione in italiano: Natsu Funabashi)

ザ・和食

だしの話① うま味

和食を作るときには欠かせない出汁(だし)ですが、「だし」を語る前にまず、近年の和食ブームと共に海外でも一躍有名になった「うま味」という言葉について、話していきましょう。

「うま味」は五つの基本味(甘味、塩味、酸味、苦味、うま味)の一つです。「おいしさ」という言葉としばしば混同されますが大きく異なっており、「うま味」は他の味を混ぜ合わせても作ることのできない独立した一つの味を指して言う言葉。一方「おいしさ」というのは五感を総動員して感じるものです。味そのもの(味覚)だけでなく、料理の見た目(視覚)、香り(嗅覚)、食感(触覚)、噛んだときの音(聴覚)、食事の雰囲気や環境など…。そして「うま味」は、「おいしさ」を構成するとても重要な要素なのです。

ではこの「うま味」は、どのようにして発見され、基本味の一つとして理論化されたのでしょうか?日本では古くから料理に昆布だしが使われてきました。昆布に含まれる成分に何らかの「おいしさの元」があると、経験的に知られていたのです。そしてこれに注目したのが、池田菊苗(いけだきくなえ。1864~1936年)という博士でした。(来号に続きます)

Il dashi① Umami

Il dashi (brodo, n.d.t.) è un elemento indispensabile per la cucina giapponese, ma prima di parlarne vediamo il termine *umami*, ora conosciuto anche all'estero grazie al recente boom della cucina del Giappone.

*Umami* è uno dei cinque gusti principali (dolce, salato, acido, amaro e *umami*). Spesso confuso con il termine *oishisa* (bontà/prelibatezza, n.d.t.), in realtà è molto diverso: è un termine che indica un gusto unico, indipendente, che non può essere ottenuto mescolando gli altri sapori. Al contrario, l'*oishisa* richiede tutti e cinque i sensi: infatti non coinvolge solo il gusto, ma anche l'aspetto (la vista), l'aroma (l'olfatto), la consistenza (il tatto), il suono del cibo sotto i denti (l'udito), l'atmosfera e l'ambiente del luogo in cui viene consumato. Anche l'*umami* è un fattore molto importante che compone la sensazione *oishisa*.

Quindi, come è stato scoperto l'*umami* e come è entrato a far parte di uno dei

gusti principali?

Sin dai tempi antichi, in Giappone veniva utilizzato il *dashi* di alga *kombu*: si sapeva che i componenti dell'alga costituivano la "base dell'*oishisa*". Fu poi il professore di chimica Kikunae Ikeda (1864-1936) a porvi particolare attenzione.

(continua nel prossimo numero)

日本食協会理事 Kyoko Higuma  
(traduzione in italiano:  
Leonardo Benassi)



AIRG  
ASSOCIAZIONE  
ITALIANA RISTORATORI  
GIAPPONESI

Dal 2003 simbolo della  
VERA CUCINA GIAPPONESE

www.ristoratorigiapponesi.it

www.poporoyamilano.com

www.ristoranteshiropoporoya.it

www.milanoosaka.com

www.fingersrestaurants.com

www.zero-milano.it



HAZAMA  
**Ristorante HAZAMA**  
地中海の食材を活かした日本料理店。  
デリバリー・テイクアウト承ります。

Via Savona 41  
20144 Milano  
T +39 02 09955972  
www.ristorantehazama.com

RISO GIAPPONESE QUALITÀ SUPERIOR DA  
CHICCO GIAPPONESE. COLTIVAZIONE BIO.  
BUONO ANCHE QUANDO SI RAFFREDDA.

最高級品種 日本種米です。  
安心安全の減農薬栽培米で  
冷めてもおいしいお米です。

販売代理店です。好評発売中！

ポポロ屋はイタリアにおける

WWW.OAPSA.COM OKURA Y ASOCIADOS PRODUCTS, S.A.

Poporoya è distributore esclusivo per l'Italia  
Via Eustachi 17 Milano | ☎02-29406797 | info@poporoyasrl.it  
Lunedì 17:30-21:30 Da martedì a sabato 9:30-14:00 | 17:30-21:30  
GLOVOのサイトでもご注文頂けます。POPOROYA MARKETでご検索下さい。"POPOROYA MARKET" è disponibile anche su GLOVO.



こちらは読者の掲示板です / Questo spazio è dedicato agli annunci dei lettori:

**STUDIO LINGUISTICO SOE**  
di Masatake Soejima  
www.studiolinguisticosoe.it

韓国・日本食品店Gagheでは、**10%割引クーポン**をご用意しています。p.5の広告をご覧ください。  
Potete trovare il **buono sconto 10%** di GAGHE, il negozio di alimentari coreani e giapponesi, a pagina 5.

ミラノ補習授業校では、4歳児、5歳児を対象とした「あそんでまなぼう！にほんごクラス」の幼児を募集しています。お問い合わせは以下補習授業校事務局まで。  
連絡先：milanohoshuko10@gmai.com  
http://www.kitaitalia-nihonjinkai.it/hoshuko/

子ども向けの歌・ピアノレッスン生徒募集中  
童謡、合唱曲、ジブリ、ディズニー曲など一緒に楽しく歌いましょう！ピアノレッスンもご自宅/ミラノ市内スタジオ/オンラインにて。無料体験レッスン受付中。Tel:3518038829  
yumishimizu.information@gmail.com

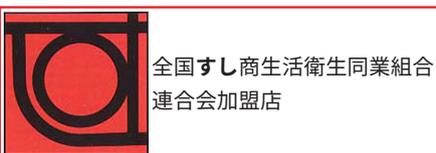


**TOZAI** GIAPPONE A 360 GRADI  
日本のことはなんでも

**IL GIAPPONE A CASA TUA**  
attraverso uno dei nostri corsi e servizi  
lingua, manga e personal chef

**日本語教師募集**  
イタリアの皆さんに日本語を教えていただける先生を募集しています。どうぞお気軽にお尋ねください。  
347.40.80.010  
**TOZAI.IT**  
375 619 1324

**厨房、ホールスタッフ募集** レストラン大阪は1999年にオープンし、経営者をはじめ日本人スタッフが勤務しているので安心して働けるお店です。未経験者でも構いません。まずは履歴書を送って下さい。  
ristoranteosaka.milano@gmail.com



ミラノの**プレラ歯科**はコロナウィルス簡易検査キット常備の指定医院です。感染予防策を徹底していますので安心してご来院下さい。Ciao!誌持参の方は初回診察無料。日本語専用電話(340-2497054)でご予約を。詳細はp.5の広告にて。

ネイティブによる**イタリア語レッスン**致します。ミラノの語学学校、大学での豊富な教授経験をもとに、日本人が間違えやすいポイントをおさえ入門から各レベルに対応します。良心的な料金で自宅、出張、オンラインも可。liliana.musazzi@gmail.com(日本語対応可)

<<La Ciotolina>>の手作りお惣菜は如何？  
居酒屋風おつまみからご家族のお夕食の一品、それに弁当まで。まずはお問い合わせ下さい。  
**Cucina Giapponese Casalinga**  
-chef a domicilio -corsi di cucina -asporto  
facebook.com/laciotola.donburi/  
laciotolamilano@gmail.com

**CIAO! Journal年間定期購読 / CIAO! Journal Abbonamento annuale**

●印刷版…21ユーロ (イタリアのご住所への発送のみ) を下記口座にお振り込みいただいた後、「お振り込みデータ」と、Ciao!Journalをご送付する「ご氏名」「ご住所」をciao@ciaojournal.comまでお送り下さい。詳細はお問い合わせ下さい。  
**Geienneffe Editore S.a.s.**  
**IBAN: IT13M0623001602000057063791**

※PayPalでお支払いの方はHP (www.ciaojournal.com→「定期購読」) をご覧ください。

●Abbonamento annuale CIAO! Journal in versione cartacea…21 euro (l'abbonamento è rivolto esclusivamente ai residenti in Italia)  
Dopo aver fatto il bonifico, invia la ricevuta del pagamento all'indirizzo  
ciao@ciaojournal.com

con il nome e l'indirizzo su cui desideri ricevere Ciao!Journal.  
- Fai il bonifico al seguente IBAN:  
**Geienneffe Editore S.a.s.**  
**IBAN: IT13M0623001602000057063791**

●WEB版…無料。ご希望の方はお名前とメールアドレスをお書きのうえ、ciao@ciaojournal.comまでお申し込みください。また、お友達にご自由に転送させていただきます。

●Versione Web di CIAO! Journal…GRATIS. Se desideri ricevere la versione Web della rivista, scrivi all'indirizzo ciao@ciaojournal.com indicando: nome, cognome e l'indirizzo mail su cui vuoi ricevere la rivista. Ciao! Journal può essere condiviso liberamente con tutti!

1コマ20ユーロ (20字×4行、英数半角は2文字で1字) / una casella:  
20euro (40battute per 4righe)

**NEW!!** CiaoのFacebookやインスタ上で告知 / Annunci su Facebook e Instagram di Ciao: Ciao告知として3回掲載。20ユーロ (80字、写真1枚、英数半角は2文字で1字) / L'annuncio verrà pubblicato 3 volte sui social di Ciao: 20euro (160 battute, 1 foto)

詳細とお申込みはciao@ciaojournal.com迄 / Per info scrivere a ciao@ciaojournal.com

**Istituto Giapponese di Cultura in Roma/ローマ日本文化会館**では「日本の庭園 四季の京都の庭園」写真展を開催中(～5月6日)です。またYoutubeチャンネルでは現在、イベント関連ビデオを配信中。更に、Alice Covatta氏の講演ビデオ(JF日本研究フェロー講演会シリーズ「OrientaMenti」より)及び、日本研究者が自身のキャリアに影響を与えた本について語る「Book talk Giappone!」(伊)を近日公開予定ですので、ご期待ください。最新情報はwww.jfroma.it

ミラノ在住の皆様。症状に合った専門歯科医をご紹介/サポート、医療、他諸手続き通訳やお手伝い致します。お気軽にお問い合わせ下さい。鈴木幸子  
sachikos0206@gmail.com

## 日本の祝日

現行の「国民の祝日」は年間16日。「自由と平和を求めてやまない日本国民が、美しい風習を育てつつ、よりよき社会、より豊かな生活を築きあげるために、国民こぞって祝い、感謝し、または記念する日」と「祝日法」にて定義されている。では皆さん、それぞれの祝日に定義があること、ご存じ？

**元日**：1月1日。1948年の祝日法制定当初から設けられ、「年のはじめを祝う日」と定義づけられている。

**成人の日**：1月の第2月曜日に満20歳の人を祝う。定義は「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ます日」。戦後の次世代に期待をかけて1948年制定。元は1月15日だった（嘗て元服が1月15日に行われていたため）。この4月から成年年齢が18歳に。

**建国記念の日**：2月11日。「建国を偲び、国を愛する心を養う日」。日本を建国したとされる伝承の人物、初代天皇とされる神武天皇の即位日。

**天皇誕生日**：「天皇の誕生日を祝う日」は1948年制定。令和では第126代の徳仁天皇の誕生日で2月23日。

**春分の日**：3月の春分日。「自然を讃え、生物を慈しむ日」。若い生命が萌え出る時で祝日にふさわしいと1948年制定。

**昭和の日**：4月29日。「激動の日々を経て復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来を思う日」。昭和という礎の上に今の日本があることを忘れないで！昭和天皇の誕生日が祝日に。

**憲法記念日**：5月3日。「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」。1947年5月3日に憲法が施行されたことを記念して1948年制定。

**みどりの日**：5月4日。「自然に親しむと共にその恩恵に感謝し、豊かな心を育む」。

**こどもの日**：5月5日。「子供の人格を重んじ、子供の幸福を図ると共に、母に感謝する」。1948年制定。

**海の日**：7月第3月曜日。「海の恩恵に感謝すると共に、海洋国日本の繁栄を願う」。

**山の日**：8月11日。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」。

**敬老の日**：9月第3月曜日。「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」。元は、農閑期で気候も良い9月15日であった。

**秋分の日**：9月の秋分日。「祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ」。春分の日に対応させて1948年制定。

**スポーツの日**：10月第2月曜日。「スポーツ

を楽しみ、他者を尊重する精神を培うと共に、健康で活力ある社会の実現を願う」。嘗ては10月10日で「体育の日」だった（1964年東京オリンピック開会式の日）。

**文化の日**：11月3日。「自由と平和を愛し、文化を進める」。1946年11月3日の日本国憲法公布記念、1948年制定。

**勤労感謝の日**：11月23日。「勤労を尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝しあう」。1948年制定。

## Le festività nazionali giapponesi

Le festività giapponesi durante l'anno sono 16. Secondo la legge (Legge sui giorni festivi) sono "giornate festive per commemorare, ringraziare e celebrare, affinché il popolo giapponese possa coltivare un buon costume, costruire una società migliore e avere una vita quotidiana ricca, nella sincera aspirazione alla pace internazionale, basata sulla giustizia e l'ordine". Lo sapevate inoltre che ci sono le definizioni per ciascuna di queste feste?

**Capodanno (Ganjitsu)**: 1 gennaio. Istituita nel 1948, "giorno per celebrare il nuovo anno".

**Giorno del raggiungimento della maggiore età (Seijin no hi)**: secondo lunedì di gennaio. Istituita nel 1948, "giorno per congratularsi e incoraggiare le persone che hanno raggiunto la maggiore età".

Originalmente veniva osservata il 15 gennaio (giorno in cui veniva celebrata fin dall'antichità il *genpuku*, cerimonia con la quale i giovani giapponesi diventavano ufficialmente adulti). Da questo aprile è previsto che la maggiore età in Giappone venga portata a 18 anni.

**Giornata della fondazione nazionale (Kenkoku kinen no hi)**: 11 novembre.

"Giorno per riflettere sulla fondazione della Nazione e coltivare l'amore per il Paese". Festa che commemora il giorno in cui il leggendario Imperatore Jimmu, considerato il fondatore del Giappone, è salito al trono.

**Compleanno dell'Imperatore (Tennō tanjōbi)**: 23 febbraio. Istituita nel 1948,

"giorno in cui si festeggia il compleanno dell'Imperatore regnante". Il 126esimo imperatore Naruhito è nato il 23 febbraio.

**Equinozio di primavera (Shunbun no hi)**: giorno in cui cade l'equinozio a marzo.

Istituita nel 1948 per celebrare la rinascita della vita in primavera, "giorno per celebrare la natura e l'amore per gli esseri viventi".

**Giorno di Shōwa (Shōwa no hi)**: 29 aprile. "Giorno per riflettere sugli eventi del periodo Shōwa, nonché la ripresa del dopoguerra, e

sul futuro del Paese". Ricorda il fatto che le basi del Giappone odierno furono gettate durante quella era; si è deciso di celebrarlo il giorno del compleanno dell'Imperatore Shōwa.

**Giorno della Costituzione (Kenpō kinenbi)**: 3 maggio. Istituita nel 1948, "giorno in cui entrò in vigore la Costituzione giapponese (3 maggio 1947) e che auspica lo sviluppo del Paese".

**Giorno della vegetazione (Midori no hi)**: 4 maggio. "Giorno per entrare in comunione con la natura ed essere grati per le sue benedizioni, e per coltivare un'anima ricca".

**Giorno dei bambini (Kodomo no hi)**: 5 maggio. Istituita nel 1948, "giorno in cui valorizzare le personalità dei bambini e pianificare per la loro felicità, e ringraziare le loro madri".

**Giorno del mare (Umi no hi)**: terzo lunedì di luglio. "Giorno di gratitudine per il dono degli oceani e di speranza per la prosperità del Giappone".

**Giorno della montagna (Yama no hi)**: 11 agosto. "Giorno in cui apprezzare le montagne del Giappone".

**Giorno del rispetto per gli anziani (Keirō no hi)**: terzo lunedì di settembre. "Giorno per rispettare gli anziani e celebrare una lunga vita". Originariamente si teneva il 15 settembre, giorno che cade durante la bassa stagione per l'agricoltura, in cui godere anche del clima temperato che caratterizza questo periodo.

**Equinozio d'Autunno (Shūbun no hi)**: giorno in cui cade l'equinozio a settembre. Istituita nel 1948 in corrispondenza della festività dell'Equinozio primaverile, "giorno in cui onorare i propri antenati e ricordare i morti".

**Giorno della salute e dello sport (Taiiku no hi)**: secondo lunedì di ottobre. "Giorno in cui praticare sport e coltivare una mente che porti al rispetto per gli altri, allo scopo di realizzare una società sana e attiva". Originariamente si teneva il 10 ottobre, il giorno di apertura delle Olimpiadi di Tokyo del 1964.

**Giorno della cultura (Bunka no hi)**: 3 novembre. Istituita nel 1948 e commemora la promulgazione della Costituzione (3 novembre 1946), "giorno in cui celebrare la pace e la libertà e promuovere la cultura".

**Giorno del ringraziamento del lavoro (Kinnō kansha no hi)**: 23 novembre. Istituita nel 1948, "giorno per lodare il lavoro, celebrare la produzione e ringraziarsi reciprocamente".